

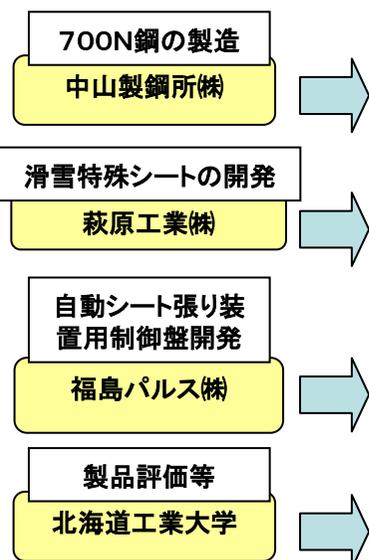
地域	北海道伊達市	認定日	平成18年12月19日	1-18-022
事業分類	製造(金属・同製品)	テーマ分類	その他	

事業名: 超高強度鋼を用いた超大型高気密仮設上屋の開発・販売

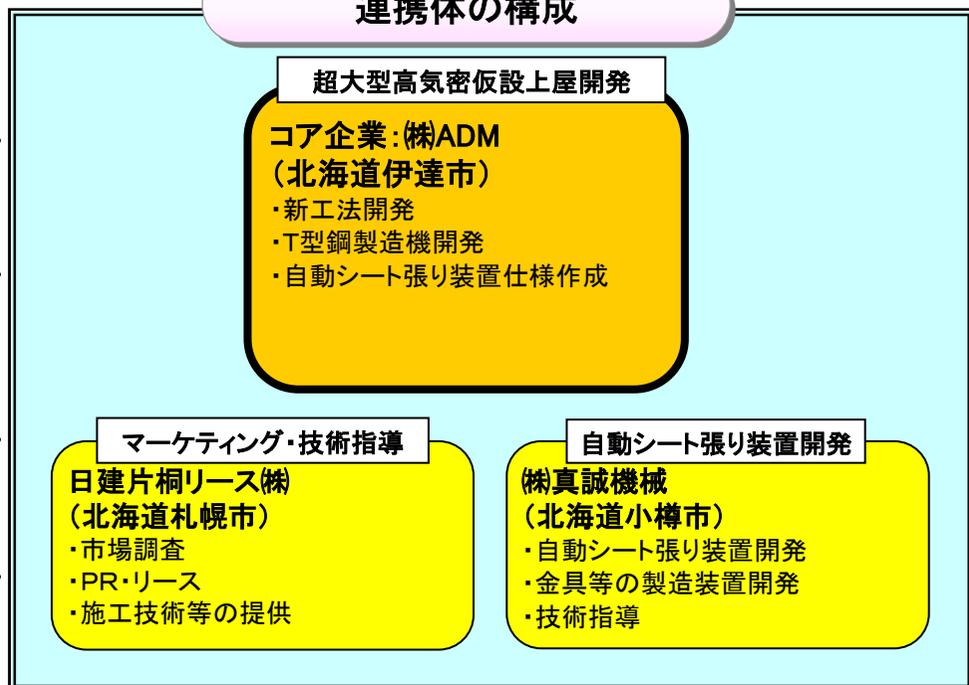
○事業概要(新規性、市場性等)

- ・近年、建造物の建設・改修・解体等の作業現場における環境配慮、作業効率向上、積雪対策等へ対応するため、作業現場の機密性が保持できる大型仮設上屋の需要が拡大している。
- ・(株)ADMはJIS規格の最大強度490N/mm²を遙かに超える700N/mm²鋼管を使用し、大型仮設上屋の分野で突出した存在となっている。
- ・同社に蓄積した技術をベースとして仮設上屋の一層の大型化を目指し、T型700鋼を用いた積雪地域で間口幅45m以上(無積雪地域では70m以上)の超大型仮設上屋の新たな工法の開発・事業化を目指すものである。

事業推進体制



連携体の構成



支援予定メニュー

- ①補助金
- ②設備投資減税
- ③低利融資(中小公庫)

超大型高気密仮設上屋の特徴

超高強度鋼

高精度の接続金具



滑雪シート



中山製鋼所が世界で初めて工業生産に成功した、鋼の結晶粒を超微細化した700N/mm²の微細粒熱延鋼板NFG(Nakayama Fine Grain)(第50回大河内記念技術賞)を活用。高強度・高靱性はもとより加工性にも優れ、さらに高い疲労特性を持つという優れた特性を有する。

1200型移動式防寒タイプ



1200型移動式



(既存工法による施工事例)
大型仮設上屋市場

連携のきっかけ、特徴

- ・(株)ADMは、これまでも大型仮設上屋商品のリース事業を展開してきた。その中で、従前の製品を遙かに凌ぐ超大型の仮設上屋の需要が顕在化し始めていることを確認した。
- ・同社は上屋の開発ノウハウを有していたが、超大型の仮設上屋の開発に当たっては、設置作業の安全性・簡便性の向上のため、自動シート張り装置の開発が必要とされた。また、超大型上屋の需要が主に道外にあるため、普及・リース事業を担う企業との連携が必要となった。
- ・そこで、自動シート張り装置については、これまでに(株)ADM商品の製造ラインや上屋の設置支援装置の開発に深く携わった(株)真誠機械と連携して開発することとなった。
- ・道外市場への普及・販路開拓については、(株)ADMが仮設上屋事業を立ち上げた当初から道内市場の販路開拓に携わり(株)ADMの商品特性や設置技術を熟知し、道外にも販路を有する日建片桐リース(株)と連携して進めることとなった。

コア企業の会社概要

企業名・代表者	(株)ADM 代表取締役 仁村優治	
所在地	北海道伊達市北稀府町99番地の5	
創業	昭和63年10月	
資本金・従業員数	1,000万円	40名
業種	建設用金属製品製造業	
TEL	0142-24-1334	
FAX	0142-24-1559	
ホームページ		
e-mail	adm.katu@themis.ocn.ne.jp	

PR等その他の情報

- ・間口幅45m以上(無積雪地域では70m以上)を確保できる仮設上屋は本商品のみです。
- ・上屋型最終処分場、工場跡地等の土壌改良工事、重要文化財(建造物)の修理工事、大型建造物の解体工事等を主な使用場面とし、ゼネコン、自治体等をターゲットとして事業展開をしていきます。